

若き気象庁職員の見たアメリカ

隈 健 一*

Krishnamurti 教授（以下 Krish と呼ぶ）の招きにより、1988年1月より2年間 Florida State University（以下 FSU と呼ぶ）気象学科で、研究をする機会を得ましたので、その様子をお伝えします。特にこの研究室には伝統的な奇習がありますので、それを含めて御紹介しましょう。

FSU 気象学科は、第二次世界大戦後、それまで女子大であった FSU が共学の総合大学に発展していく際、男子学生を募集するための目玉として、今から40年前に設立されました。その核となって学科の発展に尽くしたのが、当時25歳、Chicago 大学で PhD を終えたばかりの Baum でした。彼も今や FSU の文理学部の学部長であり、昨年11月には Krish を中心として FSU 気象学科40周年記念式典が催され、Baum の業績がたたえられました。WMO から Obasi 事務局長がはるばる大西洋を渡って祝辞を述べにきたことから、この式典の大きさが想像できると思います。40年前、やはり男子学生集めに作られたのが、American football 用のスタジアムで、人口5万の町に6万人収容のスタジアムが建設されるということで、当時の話題を呼んだそうです。この football も今や3年連続全米 best 3 にはいる活躍ぶりです。無料の日刊大学新聞 Florida Flambeau によると、気象学科と football は FSU 名物である、ということです。

気象学とともに海洋学科および地球流体力学研究所 (GFDI) も充実しており、これらを含めると教授陣の数も気象関係だけで、20名に及んでいます。FSU 気象学科の一つの特徴は、Synoptic にあるとおもいます。日本の大学の気象学教室では、天気図解析など珍しいかも知れませんが、こちらでは気象台予報課のように、天気図に色塗りして、トラフ、リッジマークをつけるといった実習が大学院での必修科目です。学科の建物の最上階には、NWS (National Weather Service) より fax で

送られた天気図類（数値予報図を含む）や衛星及びレーダー画像モニターシステムがあり、正に予報会報室です。しかも24時間体制で学生が監視を続けており、気温予測、降水確率を含めた天気予報も発表し、その一部は地元 TV 局の天気予報番組にもなっています。クラス授業でも VTR を利用して、テレビの天気予報キャスターを演ずるといふ実習もあります。Krish 研究室からもつい最近、ナンシーという女の子が TV 局の天気キャスターとして就職していきました。この商売に憧れて気象学科に来る学生もアメリカ人の中には少なくありません。全米の気象学科の中でも天気予報コンクールというのがあって、学生ばかりか教官も参加し、さらに NWS や数値予報モデルとも競い合います。Krish 研究室のジャックはコンクールの常連優勝者ですが、ハリケーンの話になると3時間は一人で話し続けるという恐ろしい博識です。Krish もこの能力をいかに研究に反映させるかで頭を痛めています。NWS 長官の Friday 博士の講演によると、NWS も今後総観気象学をしっかり身につけた気象学科の卒業生を大量に採用していくようです。というのも、NEXRAD, ASOS (Automated Surface Observing System) の導入とともに、現在249ある気象官署を115に減らし、気象台を予報解説センターとして再出発させようという方針を NWS が持っているからです。

総観気象を大学の授業で取り上げていくうえで、羨ましく思えたのは、格子点値やゾンデ観測データなどが real time で学科の計算機に入力してくることです。例えば、ハリケーンが接近中にさあこのハリケーンの構造を解析し、今後の発達および進路を予報しましょう、という宿題が出せるのです。一晩でこの宿題を終えなければならない学生は大変ですが、実践的なアメリカの大学教育はビジネススクールだけでなく気象学にも及んでいるのです。データ公開という観点からつけ加えると、実は、たとえ大学に所属していなくても、電話回線とパソコンを使って、データを real time で入手し、それを

* 気象庁数値予報課。

ラフィック化する software も市販されていますし、これをサポートするパソコン通信会社もあるのです。

さて、FSU の教授陣の中でも特に有名なのが Krish とその夫人 Ruby です。Krish の研究室はおそらくアメリカの気象界の中でも最大級と思われ、さながら親分肌の社長をもつ中小企業のようなのです。そのスタッフには、まず研究費を管理する project manager がおり、typist が2～3名、プログラマーが3名、作図担当が1名、さらに研究員3名、学生10名を含めると正に論文作成マシーンといえそうです。勿論これだけの規模を維持している背景には、Krish の精力的な仕事が NSF, NOAA, NASA などから研究費のサポートという形で評価されているばかりでなく、10名にも及ぶ大学院学生をきちんと指導しているという実績が WMO に認められ、WMO から数多くの留学生が派遣されているという点も忘れてはなりません。Krish 研究室のもう一つの特徴は、各国の気象局から派遣されている学生または研究員が多いということです。筆者も気象庁の所属ですので、彼らとの共通の話題も多く、将来アジア数値予報センターを作ることは可能であろうか、といった夢まで語り合ったこともありました。出身国はさまざまで、筆者と面識のあった人達の国名をあげてみますと、インド、中国、韓国、マレーシア、ホンコン、タイ、ビルマ(当時)、オーストラリア、ベネズエラ、フランス、アルジェリア、マライ、ケニア、そして日本、アメリカを含めると、15カ国にも達します。

勿論10名にも及ぶ大学院生を指導するというのは並み大抵の仕事ではなく、そこで有名な夜中の勤務が必要になってきます。Krish は日中には原則として学生を指導しません。と言うのは、3人のプログラマーへの指示、project manager との打合せ、そしてアメリカの大学でもっとも重視されているクラス授業と、昼間は殆ど余裕がないからです。そこで Krish は夫人の Ruby と愛犬ポピーと共に夜の9時過ぎに大学に現れます。Ruby は実験室にこもって水槽を回し始め、Krish は学生と討論を始めます。という訳で、学生達も毎晩研究室に来なくては行けないのです。実際、Krish 研究室の学生の数は夜の11時から12時にかけて1日のピークに達します。筆者は wife が音楽大学でハーブシコードの練習をしていたこともあって、12時頃彼女をつれてアパートにもどりましたが、Krish は深夜3時まで残っているようです。

土曜、日曜も同じ様な生活を続ける Krish 夫妻の一番

の楽しみは、庭いじりです。Krish は東京近郊の農家ぐらゐの菜園を作って、大根、ニガウリ、冬瓜など東洋系を中心に野菜を育てて、配り回っています。日本人にとっては安いアメリカの物価も、中国やインドからの留学生にとっては、とても高く感じられるそうですから、大好評の現物支給です。花より団子の Krish に対抗して、Ruby はとても美しい花を大切に育てています。カナダ生まれの日系2世である Ruby は日本庭園を作るのが夢で、'獅子奮迅'を製作したのですが、早速それを流体力学実験の授業で紹介して、カオスのモデルにしてしまうのは、彼女らしいところです。忙しいながらも毎月一度は、ワニの棲む湖のほとりにある Krish 邸で、インド料理の party を開き、女性のゲストには自作の花をアレンジしてお土産に持たせる心遣いには、かつての日本女性の優しさを感じさせます。

さて、フロリダ州のニックネームは sunshine state, その名の通り2月になると、日中は明るい太陽が照りつけ、キャンパスの芝生もビキニ姿の女子学生の日光浴で華やかになります。ラテン系の血が濃いせいも、アメリカの中ではフロリダは彫りの深い美人の多いところというのが筆者の観測結果です。州内には、世界のリゾート、マイアミや、世界一のレジャーランド Disney World, そして海岸線の殆どが Palm tree と真っ白な砂浜の美しいビーチとあって、クリスマス前にはカナダ、ニューヨークからのハイウエイは大渋滞になるほどです。御存じスペースシャトルの打ち上げられるケープケネディ基地もそんな所にあります。寒い北部から退職後フロリダに移住してのんびり暮らそうという人や、政治経済危機の続く中南米からの移民のおかげで、50年前までワニの数より少なかった人間の数も、カリフォルニア、ニューヨーク、テキサスに次いで全米4位にもなり、また、その一方で、中南米からの玄関マイアミを中心に不法移民、麻薬の流入は絶え間なく、犯罪発生率も全米のトップクラスです。同性愛者の楽園、キーウェストを抱えることもあって、AIDS の発生率もトップクラスで、FSU でも現職の気象学の教授が AIDS で死亡するという shocking な事がありました。

フロリダのもう一つの名物は、マイアミ大学のニックネームにもなっているハリケーンです。マイアミには、大山博士が研究を続けているハリケーン研究所と全米のハリケーン予報中核である NHC があります。NHC の所長は、毎年ハリケーンが近づく度に TV の全国中継で解説しているので、有名人になれます。さきほど紹介

したジャック君は、その才能を認められて、一年間NHCで働いていましたが、去年のハリケーン Hugo の時には、カリブ海を荒し回っているときに張り切りすぎて、肝心のチャールストン上陸時には熱を出して寝込んでしまっていたそうです。一方、西岸のタンパ市には、WTVT というテレビ局が6人の気象専門家とレーダー及びコンピュータを持ち、独自のハリケーン情報を提供しています。最新鋭の気象システムをテレビ局が持っていることには驚かされましたが、気象情報の住民への伝

達という意味では、これほど強力なシステムはないかもしれません。フロリダの州民がいかにハリケーン情報が必要としているかもお分かりと思います。ちなみにこのテレビ局がカバーする範囲の人口は約200万人、日本の一県と同じ規模であることを付け加えておきます。

終わりにになりましたが、今回の訪問に際して御世話を頂いた気象庁の皆様方、そしてなによりも Krishnamurti 教授にこの場を通じて感謝の意を表します。

1990地球化学研究協会学術賞「三宅賞」の研究助成受領候補者の推薦依頼について

三宅泰雄教授退官記念事業として、創立された(1972年)地球化学研究協会は、その翌年から地球化学に顕著な業績をおさめた科学者に、毎年地球化学研究協会学術賞「三宅賞」を贈呈しています。

さらに1983年からは、海外シンポジウム等に出席し、論文を発表する地球化学の若手研究者に対し、助成を行っています。

なお、賞金および助成金は本協会を母体として、1983年に新設された公益信託「地球化学研究基金」(受託者東洋信託銀行株式会社)から贈られます。

つきましては、下記の要領により、受賞候補者および研究助成受領候補者のご推薦をお願いします。

記

三宅賞

1. 本賞は地球化学に顕著な研究業績をおさめた科学者に贈呈します。
2. 本賞は賞状とし、副賞として賞牌および賞金(30万円)をそえます。
3. 本賞の贈呈は、1年1件(1名)とします。
4. 同封用紙に受賞候補者の推薦対象となる研究題

目、推薦理由(400字程度)、主な論文10編程度に略歴をそえて、協会事務所までお送り下さい。

研究助成

1. 研究助成は地球化学の若手研究者で、海外のシンポジウム等に出席し論文を発表する者に対して、行われます。
2. 助成金は1件10万円とし、年に3件とします。
3. 同封用紙に推薦対象者(各締切日において満40歳までとする)の略歴、研究業績、助成金使用の目的、出席予定の国際会議名(開催年月日、開催場所)、論文題目、推薦理由等を記入して、協会事務所までお送り下さい。

三宅賞の贈呈および研究助成受領者の発表は、1990年12月8日(土)東京で行います。

申込締切日は三宅賞は、1990年9月5日(水)・研究助成は、第1回締切1990年9月5日(水)、第2回締切1990年1月末日。

地球化学研究協会

〒166 東京都杉並区高円寺北 4-29-2-217

TEL. 03-330-2455